

第4回農業の「働き方改革」検討会 事例発表

77

H30/2/28 10：00～

取り組みへの背景

- ・季節雇用労働者だけでなく、正社員の雇用が必要になった
- ・成長を感じることができる会社にしたかった
- ・コミュニケーションや意思疎通を円滑にする
- ・効率良く働ける環境づくりをしたかった

社内SNSを導入し、情報を1箇所に集中



グループ

 タイムライン

全社

社内連絡

レタス農場

サニー・リーフ農場

パクチー農場

2017チェック済日報

北佐久園芸-VA連絡

サニー・リーフ班収穫伝…

資材・備品購入申請

書類保管庫

車両の鍵管理

出荷情報（パクチー）

8 レタス班収穫伝票2017

苗管理

VAマロンプロジェクト

ベジアーツ菜園（家庭菜…

ニッチワークリスト

修理記録

備品購入記録

5S活動グループ

全社ミーティング

資材在庫

読んだ本

ロボット羊糞堆肥

メッセージ

大原 広朗

山本 裕之

荒井 美波

山木 麻美

レタス農場

i

このグループで共有したい情報を投稿

 ファイルを添付 タスクを追加 宛先を追加 尾花 公志
農場 農場長代理

治三郎北面

外葉の張りがイマイチだが、水分が多い分結球が南面より早い！

サイズが少し小さいので追肥したら少し変わりそう！



日報によるコミュニケーション



2015年6月23日(火) 天気 晴 記入者 菅井

本日の業務

3:00 - 10:00	収穫 SUZUKI ✓	(大根、鈴木、高橋)
11:00 - 12:30	10ワニ一定植 ✓	(安藤、瓦井)
14:00 - 14:30	?	✓
14:45 - 16:30	収穫 SUZUKI ✓	(大根、鈴木、高橋、菅井)

農場長より

耕作地1万haです!	OK!	□全
------------	-----	----

よくできたこと 天気を考慮して、10ワニ一定植も出来ました。 ✓

農場長より 緑色から葉色異常

8月もしくは上旬まで!	OK!	□農
-------------	-----	----

改善が必要なこと 10ワニ、植え位置にまだ手作業で手立てでいるところ
いくつもあつたが気をつけている。 ✓

農場長より

	総農場長より	□全
--	--------	----

農の雇用事業指導内容 天気を考慮して作業の組み立てる

相談／提案

10ワニ (セルトレイに落いた) 枝が(はりすぎ)枝と枝に びきれてしまっています... ✓	ついで	
---	-----	--

農場長より

もう少し早いところをシート	なる程	□農
---------------	-----	----

直後にそれだけが思いました! 耐えますか?

↑ 安藤

82

2015年6月23日(火) 天気 晴 記入者 堀

本日の業務

1-10873	①大根、鈴木、金井
1-10840	②立候
1-10832	③鈴木

10ワニ一定植、安藤が立候 ✓

立候、鈴木、金井、やから ④大根、金井

枝 枝 ⑤立候、鈴木 安藤

鈴木 (2件) ✓ ⑥大根、鈴木、金井

⑦3:00~10:00 ⑧5:00~12:00 ⑨6:00~12:00 ⑩10:30~12:00

総農場長より

OK!

よくできたこと 改善が必要なこと

雨前は10:00で終了。	10:00~10:30は植量を増やしたいといい。 ✓
--------------	----------------------------

10:45、植株も2件! ✓

総農場長より □全 総農場長より □全

お疲れ様! □農 汗をこぼすよ。 □農

相談／提案

① 10:30~12:00 ② 14:00~16:00	
-----------------------------	--

総農場長より □全

6



朝礼・昼礼による業務確認



○レシス取扱

・取扱ハウス内

・取扱い人等

青木

荒井

トゥエン

安原

林

笠原

トゥアン

長

尾花

富所

俵山

ドウック

○山猪さん手伝
長

岡村

西車

ハイエース 尾、ゴト車 宝、 ウィング 富、アトラス 宝、アトレー 美

0249181 工場

2人

噴霧 よしの木 25枚 5人

○パートナーリ対応(荒)

○取扱方づり?

3人

○ハウス管理

ハシ フォン ユン

配属

○11094 ハート15 運動開始!

A

後藤

今川

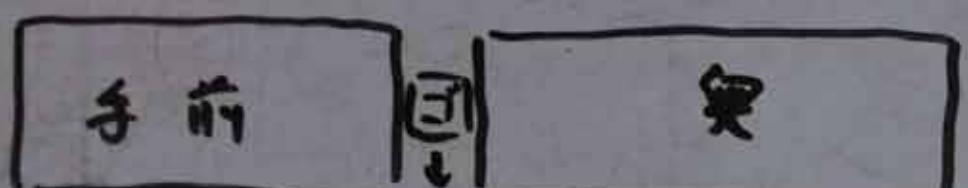
山本

モスエース

ダンプ

軽バン T5060

テントエフ イヤキ 19 ロードイン



回

道具の整理整頓・5S活動



マニュアル化への取り組み



VEGETANTS

3. 播種の作業

8. 播種

実施概要(目的): 基本的な考え方、大切にすること、ポイント

- トレーに種をためる作業と、また種を撒くまでの工程を理解しよう
- 播種が完了したら、パレットの移動させる場所を変えるよう

操作内容:

- フルーツトレーに種を入れる
- 容器の穴に種が入っていることを確認する
- レバーを引く
- 土を入れたパレットの上にトレー持ってきて、レバーを引いて播種をする
- 容器の穴に種が入っていることを確認する
- 手の台に置せる



取り組みの効果

- 年々定着率が良くなっている。
- H25～26年 (58%)
- H27～29年 (84%)

現在取り組んでいる事

- 経営者の観点
 - =経営基盤の整備

農業に多い、「紙・帳票」や「ムダな転記作業」「手書き作業」といった業務をなくしていく、経営に資するデータをあつめて、意思決定スピードを上げる環境づくりに取り組んでいる。
- 社員・働きやすさの観点
 - =社内のデジタル化をすることで、雇用し易い・働きやすい環境づくりを行っている
 - 社内の情報共有の紙やムダを無くして、意思疎通や問題把握のスピードUP。
 - 事務所に出向かなくても、自宅や外出先でも働ける環境の整備
 - ・チャットツール：現場の情報交換をスムーズに
 - ・G-suite等クラウド上での情報共有のあり方（耕作計画や、備品発注、休暇申請など）
 - ・kintone：基幹データをクラウド上で構築し、入力は1度だけ。省力化。現場に転記作業やムダな入力負荷をあたえない。
 - ・人事制度：1on1など、現場の不満やよかったことをリアルタイムに吸い上げる制度のスタート。短時間で全社員とマネージャーがやりとりする場を提供。自分で考え、自分で発言し、改善する人事制度をスタートした。年々定着率が良くなっている。

今後望む支援

- ・社内のデジタル化を外部に頼る場合の支援

関係者限り・無断転載禁止

「ICTを活用した大規模稲作」について

96

有限会社フクハラファーム
代表取締役社長 福原悠平

2018/2/28 近畿農政局

フクハラファームにおけるスマート農業への取り組みについて

2009～ 富士通 akisai の導入 農業へのICT活用のさきがけ

農匠ナビプロジェクト

(代表:九州大学 南石教授)

農匠ナビ1000プロジェクト(第1期) 2014～2015

農匠ナビ1000プロジェクト(第2期) 2016～継続中

2010～2013

- ・ドライブレコーダーやウェアラブルカメラを利用した技術伝承実験

- ・水田センサーを利用した水管理データの解析

- ・環境保全型乾田直播等、技術パッケージの高度化

- ・2016年、株式会社設立

代表取締役社長 佛田利弘
取締役会長 福原昭一
取締役 横田修一
取締役 高崎克也

経営参画
出資・技術供与

ぶった農産(石川)
横田農場(茨城)
AGL(熊本)
フクハラファーム(滋賀)

法人4社

農匠ナビ(株)

技術供与
開発実証

委託研究依頼
新技術モニター

委託研究依頼等

意見交換

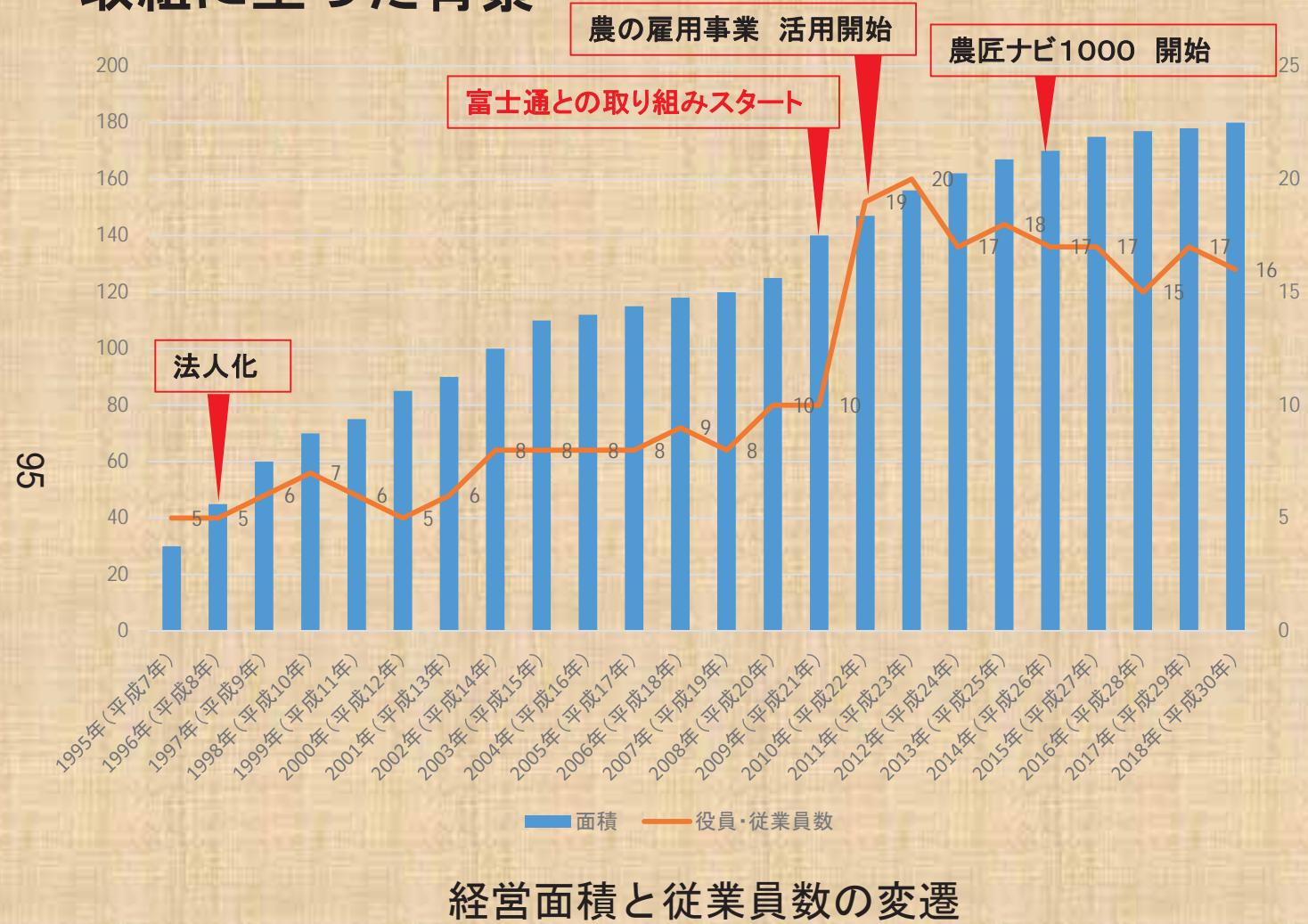
機械メーカー
JA、全農
他大手農薬メーカー等

商品化

技術の普及

各地域の生産者

取組に至った背景



面積が増え、雇用を始める



経営者一人ですべてを把握し、指示することに限界が出る



情報共有の必要性が出てくる



富士通と出会い、取り組み開始



後継者（私と末弟）が就農する



技術・経営の継承を考え始める



南石先生、佛田氏（ぶった農産）にお声がけいただき、プロジェクト開始

取り組みの効果

ICTに取り組んだことで「データを残す」意識が芽生え、「データに基づく営農」が形成されてきた

- ①社内情報の可視化による目標の共有…売上、生産コスト目標
- ②コストの把握とコスト低減への意識…自分たちの生活につながるという意識付け
- ③社員個人の目標設定
例:草刈りの作業時間を〇〇時間まで低減しよう
- ④トレーサビリティの確立
- ⑤創業者の頭の中にしかない情報の可視化…生育、圃場、集落、培われた経験の数値化

取り組みにあたって苦労したこと

記録をつけるという意識の定着に5年以上要している

1年や2年で劇的な変化をもたらすものではなかった
忍耐と継続が肝要



社員への動機付け

- ①コストを意識して生産性を向上させることが自分たちの給料につながる
- ②目標を自身で設定し、どのように会社に貢献していくのかを明確に

今後の取り組みについて

①GPS基地局の設置…設置場所、費用対効果の問題

大区画圃場が増え、作業精度向上がより重要に

オペレーターのアシスト機能充実(自動運転等はまだまだ使いものにならない)

②複数データの連結(例:akisaiとSA-R等)

作業機稼働時間の明確化による投資計画

メンテナンス等機械設備管理の可視化

最後に

技術は「何を使うか」よりも、「何のために使う」かが重要

目的意識を明確にしたうえで活用していくことが肝要
闇雲につかっても意味はない(自戒の意味を込めて)